

(学) 宮崎総合学院 宮崎ペットワールド専門学校
2023年度 授業シラバス

授業科目名	動物園総論Ⅱ	科目コード	2303023		
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグ インストラクターコース	学 年	2年
担当教員	坂元祥彦				
	実務経験教員 (有 ・ <input type="checkbox"/>) 実務経験内容				
開講時期	前期・後期・ <input type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	62 時間	
	<input type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	プリント			
	著 者				
	出版社				
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	動物園にできる事 (川端裕人著) 新・飼育ハンドブック (日本動物園水族館協会)				
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習				
<p><授業の目的・目標></p> <p>1年次で学習した概論や動物の生態を基本として、実際に動物園で飼育する場合の動物種ごとの食事と病気の管理について学び、展示動物の飼育に活用する。</p>					
<p><授業の概要・授業方針></p> <p>講述およびスライド・ビデオ映像等を用いた説明を心がけ、単なる知識の修養ではなく、現場に立った時に動物のどこに注目しどんな対応を取らなければならないのか、自ら考え、行動できるように準備をさせる。 毎時プリントを配布。</p>					
<p><成績基準・評価基準></p> <p>前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					

<関連科目他>

動物園総論Ⅰ

授業科目名		動物園総論Ⅱ (1回×2時間)
2H/ 回	授業内容	
		備考
1	動物の食事(総論) 栄養、消化、動物種	
2	動物の食事(総論) 飼料、課題、給仕法	
3	サル類の食事(総論)	
4	サル類の食事 ツパイ科、キツネザル科、メガネザル科、キヌザル科、オマキザル科、オマキザル科、オナガザル科等	
5	肉食獣の食事(総論) 単孔目、有袋目、食虫目、翼手目、貧歯目	
6	肉食獣の食事 有鱗目、イヌ科、イタチ科、ネコ科、管歯目等	
7	草食獣の食事(総論)	
8	草食獣の食事 有袋目、翼手目、貧歯目、兎目、齧歯目、長鼻目、岩狸目、奇蹄目、偶蹄目	
9	雑職獣の食事(総論) アルマジロ科、ハリネズミ科、クマ科	
10	雑職獣の食事 ジャコウネコ科、イノシシ科	
11	鳥類の食事(総論)	
12	鳥類の食事 ダチョウ目、魚水生動物目、フラミンゴ目、タカ・フクロウ目、キジ・カモ目、ツル目、ハト・オウム目等	
13	爬虫類の食事(総論)	
14	爬虫類の食事 カメ、ワニ、トカゲ、ヘビ	
15	模擬試験	
16	前期内容の復習	
17	両生類の食事(総論)	
18	両生類の食事 アシナシイモリ目、サンショウウオ目、カエル目	
19	動物の病気	
20	病気の予防・検疫・栄養・感染症予防・消毒	
21	寄生虫：検査・同定・診断・治療・予防	
22	人獣共通感染症：病原体・伝播方式・防疫	
23	麻酔・吸入麻酔種類・麻酔前投薬・筋弛緩薬	
24	麻酔・吸入麻酔麻酔の深さ・生体への影響・術後管理	
25	哺乳類の病気：外科・過長爪・過長蹄・骨折・腫瘍	
26	哺乳類の病気：内科・消化器・呼吸器・循環器・寄生虫	
27	哺乳類の病気：内科・ミネラル欠乏症・熱中症	

	歯科・過長歯・歯周炎	
28	哺乳類の病気：泌尿生殖器・難産・膀胱結石・皮膚病	
29	鳥類の病気：特性・検疫・診察・一般症状	
30	鳥類の病気：治療方法・投薬・外科的処置	
31	病気まとめ	